

はじめに

人と音とのコミュニケーションに立って考えますと様々なことが浮かんで参ります。会話によるコミュニケーションはその最たるものでしょうが、街に出掛けましてもいろいろな音とのコミュニケーションが展開されます。しかしながら、海外に長く滞在された方々が日本の街にたち帰りますと、日本はアナウンスなどきめ細かで親切心に溢れている一方、随分とやかましく感じる音や公共空間が多いとも耳に致します。当財団の研究助成事業の審査委員各位による会合の折にも同様の意見が寄せられたと聞き及びます。感性の時代といわれて久しいですが、公共生活の場の音環境という立場で眺めたときこれに逆行する様な状況を呈しているともいえます。

この様な観点から、市民生活と公共の場での音環境をキーワードに、人と音とのコミュニケーションを調査する運びとなった次第であります。研究者の方々からのアンケートなども交えて、皆様が日頃どの様に感じておられるか、種々の観点から取りまとめ致しました。関係方面にてこの結果をご活用いただければこれにまさる喜びはございません。

本報告書の作成にあたりまして、調査にご協力戴きました各位に深く謝意を表しますとともに、本報告書がサウンドの世界の更なる発展に少しでも寄与できますれば幸いです。

平成19年4月

財団法人 サウンド技術振興財団
理事長 河合弘隆
((株)河合楽器製作所代表取締役社長)